

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：中小企業振興費

事業名 ソフトピアジャパン・アネックス空気調和機更新工事費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部産業デジタル推進課 IT拠点活用推進係 電話番号：058-272-1111(内3723)

E-mail：c11356@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 220,488 千円 (前年度予算額： 470 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	470	0	0	0	0	0	0	400	70
要求額	220,488	0	0	0	0	0	0	198,400	22,088
決定額	220,488	0	0	0	0	0	0	198,400	22,088

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

ソフトピアジャパン・アネックスは、竣工後28年が経過し、経年劣化に伴う空調設備の不具合が頻発している。一方、冷媒となるフロンガス(R22)の生産が2019年末に終了したことに加え、製造メーカーの部品供給が終了し、万が一現行設備が故障した場合に修理が困難な状態となっている。(応急処置が可能な箇所は指定管理者が対応しているが、根本的な修繕ができない。)

空調が使用できなくなった場合、適正な室内環境を維持できなくなり、施設の運営に大きな支障をきたすため、早急に更新する必要がある。

なお、空調設備が設置されているシステム天井の部分更新ができないことから、天井ごと更新する必要があり、また、工事期間は入居企業の移動が必要となる。

(2) 事業内容

岐阜県県有建物長寿命化計画にもとづき、令和6年度に実施設計を行った後、令和7年度に入居企業との調整を行った。今後は、令和8年度に更新工事(I期)、令和9年度に更新工事(II期)を行っていく。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	218,870	
事務費	657	旅費131 消耗品費197 燃料費197 役務費132
工事委託料	961	更新工事（II期）に向けた実施設計の単価入れ替え
合計	220,488	

決定額の考え方

4 参考事項

（1）各種計画での位置づけ

岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画

Ⅲ 各分野のDX

10 産業・労働

- （1）デジタル化の段階に応じた支援によるデジタル技術活用の裾野拡大
- （3）デジタル産業の強化・誘致推進

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

経年劣化等に伴う設備の更新及び修繕が年々増加している中、法令遵守、安全確保、不具合時の利用者影響度などから優先順位を付け設備の更新や修繕を行う。

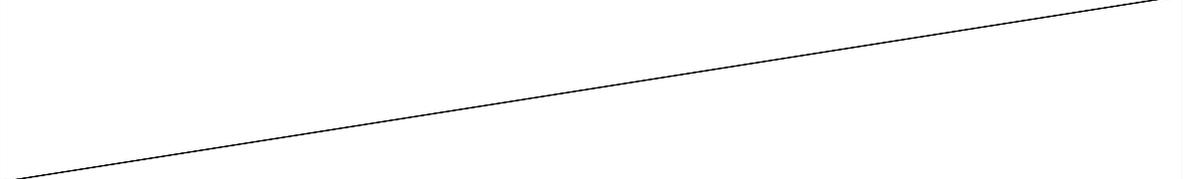
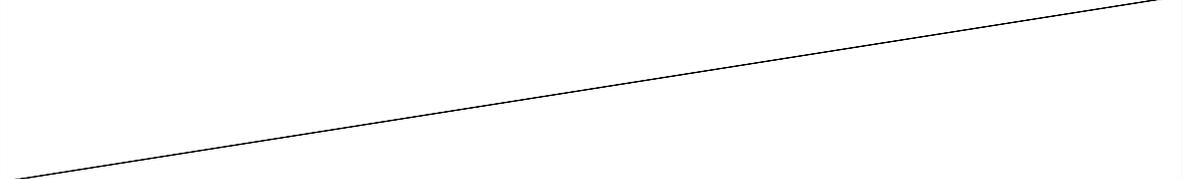
（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

施設設備等の更新工事であり、具体的な達成目標を設定できない。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	 <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和5年度	 <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和6年度	<p>実施設計</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	入居者及び利用者に不利益を与えないよう、不断の施設維持が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	必要最低限の修繕により施設の維持管理を行っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 2	中長期保全計画を作成し、また、指定管理者と連携を密にとり、優先順位の高く必要な修繕を実施し、経費の節減を図っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 中長期保全計画で策定した修繕は、大規模な修繕を中心に先送りされ、機能維持が難しい設備も出てきており、待ったなしの段階である。施設運用面での課題や大規模設備の状況把握を行い、計画的に施設運営や修繕を実施する必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 施設の利用率や不具合の影響度などから優先順位を決め、順に維持する。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】